



プロジェクトテンプレート ウィークプログラマ

機能/プロジェクトデータ解説

IDEC株式会社

はじめに

本テキストは、プロジェクトテンプレート「ウィークプログラマ」の機能及びプロジェクトデータの解説です。

なお、本テンプレートはサンプルですので、何等保証もない現状有姿のまま提供されるものです。さらに、IDEC 株式会社（以下、「IDEC」といいます）は、商品性、特定目的への適合性を含む一切の明示・黙示の保証をいたしかねます。お客様がこのサンプルテンプレートの運用または機能から受けた影響については、お客様が負うものです。IDEC は、いかなる場合においても、本サンプルテンプレートの使用または使用不能から生じるあらゆる損害（派生損害、間接損害、付随的損害、特別損害、逸失利益、事業の中断、事業情報の喪失またはその他の金銭的損失を含みますがこれらに限定されません）に関して一切責任を負いません。たとえば、IDEC がこのような損害の可能性について知らされていた場合でも一切責任を負いません。

出版履歴

2007年7月 初版発行
2008年1月 第二版発行
2009年11月 第三版発行
2010年3月 第四版発行
2010年9月 第五版発行

変更履歴

Version 1.10 (WindO/I-NV2 Ver.4.22) Sep/6/2010

機能アップ/改善

No.	項目	内容
1	繰返設定	運転中に、一定サイクルで出力のオン/オフを繰り返す機能を追加しました。

Version 1.06 (WindO/I-NV2 Ver.4.12) Mar/5/2010

機能アップ/改善

No.	項目	内容
1	出力設定	出力設定に関する以下の不具合を修正しました。 1) 出力設定を「自動」または「入」に変更後、出力結果が不正となることがある。

Version 1.03 (WindO/I-NV2 Ver.4.11) Nov/27/2009

機能アップ/改善

No.	項目	内容
1	プログラム切替	PLC からのプログラム切替後に発生する以下の問題を修正しました。 1) 正しく出力がされない場合がある。 2) 順次起動設定が反映されない。 3) すでにオンしている出力が、一旦オフになり再度順次起動される。またこの状態で順次起動をオフまたは秒数を変更しても反映されない。
2	出力設定	出力設定に関する以下の不具合を修正しました。 1) 出力設定で本来オンしているはずの出力を「切」から「自動」に戻してもオンしない。 2) 出力設定を「入」にした状態で運転を停止すると、再度運転を開始しても「入」に設定した出力がオンされない。

Version 1.01 (WindO/I-NV2 Ver.3.32) Jan/15/2008

機能アップ/改善

No.	項目	内容
1	パターン設定画面、特別日設定画面	パターン設定または特別日設定登録時に重複データをチェックする機能を追加しました。

目次

1	ウィークプログラムの動作説明	1
1-1	機能説明	1
1-2	基本プログラミング手順	2
1-3	基本システム設定手順	4
2	画面の説明	5
2-1	運転画面 (ベース画面)	5
2-2	メニュー画面 (サブ画面)	6
2-3	パターン設定画面 (サブ画面)	7
2-4	繰返設定画面 (サブ画面)	9
2-5	週間設定画面 (サブ画面)	11
2-6	出力設定画面 (サブ画面)	12
2-7	特定日設定画面 (サブ画面)	13
2-8	システム設定画面 (サブ画面)	14
2-9	時計設定画面 (サブ画面)	15
3	外部入力と外部出力について	16
3-1	外部入力	16
3-2	外部出力	17

1 ウィークプログラムの動作説明

本ウィークプログラマテンプレートは予め設定された1週間のタイムスケジュールに従って出力をオン/オフさせることができます。

また、1週間のタイムスケジュールのほか特定の月日のタイムスケジュールも設定できますので、これらを併用することで1年間のタイムスケジュールを設定することができます。

なお、基本的なタイムスケジュールの設定は1日のタイムスケジュールを運転パターンとして登録し、この運転パターンを1週間の各曜日に割り付けることで行われます。

この1週間分のくくりをプログラムと呼び、このウィークプログラマテンプレートで最大4プログラムまで設定することができます。

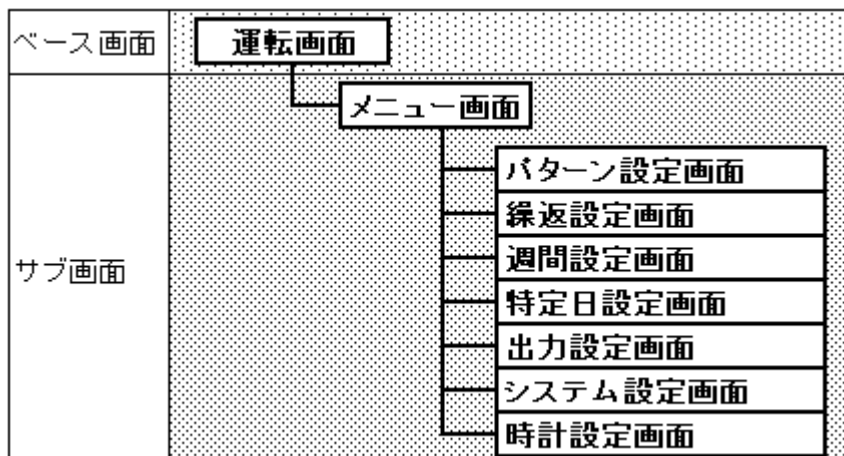
1-1 機能説明

ウィークプログラマには以下の機能があります。

- 出力のオン/オフ
最大で16出力を設定した運転パターンに沿ってオン/オフします。
- 強制出力オン/オフ
設定した運転パターンの内容にかかわらず出力をオン/オフすることができます。
出力設定画面で設定を行います。
- デューティサイクル運転
指定した時刻の間、一定サイクルで出力をオン/オフすることができます。
繰返設定画面で設定を行います。
- 特定日設定
特定の月日に対して運転パターンを設定することができます。
この機能を使うことによって祝日や祭日、年中行事などに対応することができます。
最大30日分設定することが可能です。
- 順次起動
2つ以上の出力が同時にオンする時に、電源トラブルを回避するために、出力番号の若い順から1つずつ順に、一定間隔(0~10秒)でオンさせることができます。1秒から10秒までの設定が可能です。
- 外部入力による運転プログラム番号の切り替え
PLC側からデバイス[X 1]から[X 4]に1を入力することにより運転プログラム番号を切り替えることができます。
- 時計アジャスト機能
この機能を使用すると、実時間が00秒から29秒の間の時は実時間を00秒に、30秒から59秒の時は実時間に+1分して時刻を調整します。
- 他言語対応
画面上に表示される文字列を日本語/英語に切り替えることができます。
- PLC自動RUN機能
本ウィークプログラマテンプレートをダウンロードした表示器とFC3A, FC4A, FC5AタイプのPLCを接続すると自動的にPLCが停止状態からRUN状態に切り替わります。
PLCのプログラムは不要で、すぐに利用できます。

1-2 基本プログラミング手順

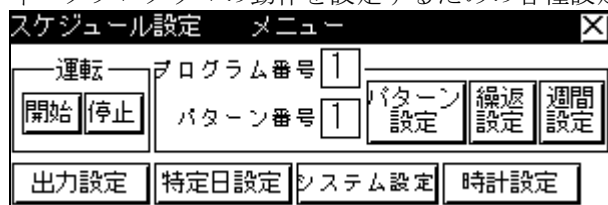
以下に、ウィークプログラマテンプレートの画面構成を示します。



HG1F へウィークプログラマをダウンロードした時、最初に運転画面が表示されます。

停止中	プログラムNo.1	パターンNo.1	スケジュール設定					
08/31 Tue. 13:42:20								
出力表示	1	2	3	4	5	6	7	8
	9	10	11	12	13	14	15	16

この画面の右上にある「スケジュール設定」を押下することでメニュー画面を開くことができ、そこからウィークプログラマの動作を設定するための各種設定画面を開くことができます。



メニュー画面を開いた後、以下の手順で詳細なパラメータを設定します。

1. プログラム番号/パターン番号を設定します。

本ウィークプログラマテンプレートでは、1から4までのプログラム番号それぞれに対して、1から4までのパターン番号を設定できます。ここで設定したプログラム番号/パターン番号は、手順2. のパターン設定画面/繰返設定画面上で編集するプログラム番号/パターン番号となります。また、手順3. の週間設定では、ここで設定したプログラム番号に対して設定します。

2. パターン設定画面または繰返設定を開き、運転パターンを登録します。

ある時刻からある時刻までオンさせるような設定をする場合、パターン設定画面を開いて設定します。また、1日のある期間、定周期でオン/オフを繰り返すような設定をしたい場合は、繰返設定画面を開いて設定します。

上記1. と2. を必要な分だけ繰り返します。

※この時点でメニュー画面の開始ボタンを押せば、手順1. で選択したプログラム番号のパターン1の設定に従って運転を開始できます。もし他に設定が必要な項目があれば、更に設定を続けます。

3. 週間設定を登録します。

1 週間の各曜日で運転させるパターン (1~4) を変えたい時、週間設定画面を開いて設定します。

4. 特定日設定を登録します。

祝日等、ある月日に特定のパターン (1~4) で運転させたい場合、特定日設定画面を開いて設定します。そういった特別な月日がない場合は設定の必要はありません。

5. 順次起動間隔の設定を登録します。

2 つ以上の出力が同時にオンする時に、電源トラブルを回避するために、出力番号の若い順から 1 つずつ順に、一定間隔 (0~10 秒) でオンさせることができます。

システム設定画面を開いて設定します。

※ここまで設定できれば、設定が正しいかどうかのテストが完了次第、実際に運用していくことが可能となります。運転開始時、メニュー画面で運転するプログラム番号を指定して開始ボタンを押せば、特定日設定/週間設定の設定内容から運転するパターン番号を特定し、パターン設定/繰返設定の設定内容に従って運転します。

運用中に、ある出力のオン/オフを強制的に変更したくなった場合は、以下に挙げる出力設定画面で変更できます。

6. 出力設定を登録します。

上記の手順 1.~4. の各設定に関係なく各出力を強制的にオン/オフすることができます。

出力設定画面を開いて設定します。

1-3 基本システム設定手順

システム設定画面で、以下の項目を設定できます。

1. 時刻の設定を行います。

本体に内蔵のカレンダー時計時刻の時刻合わせを行います。
年表示は西暦表示、また時刻は 24 時間表記で分単位まで設定可能です。

2. タッチ音を切替えます。

タッチパネル操作時のタッチ音を切替えます。
無音、音量小、音量大の 3 種類から選択できます。

3. 表示言語を切替えます。

画面の言語表示を日本語から英語、または英語から日本語に切替えます。

4. バックライトの自動消灯機能を設定します。

一定時間表示器を操作しない場合、自動的にバックライトが消灯します。
この機能の使用の有無を設定します。

5. 順次起動設定を設定します。

順次起動間隔を 0～10 秒までの間で設定します。
順次起動をオンにした後に起動間隔秒数を設定してください。

6. 設定されたタイムスケジュールを削除します。

ユーザが設定したタイムスケジュールデータを削除します。
削除はプログラム単位で行うことができます。

2 画面の説明

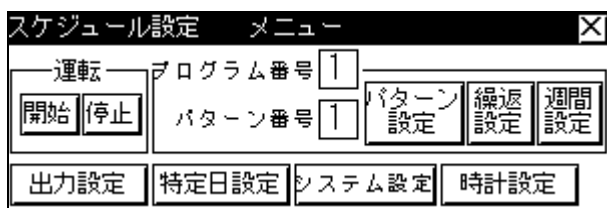
2-1 運転画面 (ベース画面)

停止中	プログラムNo.1	パターンNo.1	スケジュール設定					
08/31 Tue. 13:42:20								
出力 表示	1	2	3	4	5	6	7	8
	9	10	11	12	13	14	15	16

この画面では、現在の運転状況のモニタ、及びメニュー画面へ移動することができます。

- 1) 停止中/運転中
現在の運転状況を表示します。
後述のメニュー画面 (2-2参照) で、開始ボタンが押された時「運転中」を、
停止ボタンが押された時「停止中」を表示します。
- 2) プログラム No.
運転が開始している時、現在運転中のプログラム番号を表示します。
- 3) パターン No.
運転が開始している時、現在運転中のパターン番号を表示します。
- 4) スケジュール設定
メニュー画面へ移動します。運転の開始/停止の切り替え、及び各種設定画面へ移動することができます。
- 5) 日時
現在の日時を表示します。
- 5) 出力表示
各出力番号のオン/オフの状態を表示します。

2-2 メニュー画面 (サブ画面)



この画面では運転の開始/停止の切り替え、及び各種設定画面へ移動することができます。

- 1) 開始ボタン
後述の3)で設定されているプログラム番号の運転を開始します。
- 2) 停止ボタン
運転を停止します。
- 3) プログラム番号/パターン番号
プログラム番号/パターン番号の数値表示部を押下すると1から4まで値が切り替わります。ここで設定したプログラム,パターン番号は運転内容やパターン設定などに反映されます。
- 4) パターン設定ボタン
パターン設定画面へ移動します。3)で設定したプログラムのパターンを設定することができます。
- 5) 繰返設定ボタン
繰返設定画面へ移動します。手順3で設定したプログラムの繰返設定を編集できます。
- 6) 週間設定ボタン
週間設定画面へ移動します。手順3で設定したプログラムの週間設定を編集できます。
- 7) 出力設定ボタン
出力設定画面へ移動します。強制出力オン,オフの設定ができます。
- 8) 特定日設定ボタン
特定日設定画面へ移動します。特定の月日に運転パターンを設定することができます。
- 9) システム設定ボタン
システム設定画面へ移動します。
- 10) 時計設定ボタン
時計設定画面へ移動します。
- 11) 閉じるボタン
メニュー画面を閉じて運転画面に戻ります。

2-3 パターン設定画面 (サブ画面)

パターン設定 【プログラムNo. 1 / パターンNo. 1】						
登録	クリア	戻る	ヘルプ	◀▶	出力番号	12 / 16
1	03:45	04:30	4	15:20	19:00	7 00:00 00:00
2	07:00	09:00	5	22:10	23:55	8 00:00 00:00
3	12:30	14:05	6	00:00	00:00	9 00:00 00:00

運転の基本となる1日のタイムスケジュールを設定します。
この1日のタイムスケジュールを運転パターンと呼び1つのプログラムにつき4パターン設定できます。
この設定したパターンは週間設定画面で各曜日に割り付けます。

- 1) 登録ボタン
設定したオン時刻とオフ時刻を登録します。
- 2) クリアボタン
現在設定しているプログラム番号とパターン番号の全出力に設定したオン時刻とオフ時刻をクリアします。
- 3) 戻るボタン
パターン設定を終えてメニュー画面に移動します。
- 4) ヘルプボタン
この画面のポップアップヘルプを表示することができます。
- 5) 矢印ボタン
パターン設定をする出力番号を切り替えます。
- 6) 出力番号
現在設定中の出力番号が表示されます。
数値表示部を押下するとテンキーが表示されるので値を入力すると任意の出力番号設定画面に移動することができます。
- 7) オン時刻
設定中の出力がオンされる時間を設定できます。
0:00 から 23:59 まで設定可能です。
1出力につき9つまで設定できます。
- 8) オフ時刻
設定中の出力がオフされる時間を設定できます。
0:00 から 23:59 まで設定可能です。
1出力につき9つまで設定できます。

運転パターンの設定手順

- ① メニュー画面でプログラム番号、パターン番号を設定しパターン設定画面に入ります。
- ② 矢印ボタンを押下、または出力番号を直接入力してパターンを設定したい出力を選択します。
- ③ オン時刻を0:00から23:59の間に設定してください
- ④ オフ時刻を0:00から23:59の間に設定してください
- ⑤ 手順②～④を繰り返し最後に登録ボタンを押下してください。
- ⑥ 戻るボタンを押下しメニュー画面に戻ってください。
 - ※ 設定したパターンデータは登録ボタンを押すと時刻順にソートされます。

日にちをまたがる設定方法

連続運転をする機械設備では、日にちをまたがるスケジュールで運転を行うことが多く見られます。このような場合は次のように時刻を設定してください。

例えばある日の23:00からその翌日の7:00まで出力をオンさせようとした場合はオン時刻を23:00にオフ時刻を7:00に設定してください。

これで23:00から、日にちをまたがり翌日の7:00まで出力がオンになりつづけます。

設定した時刻設定に矛盾があった場合の動作

1つの出力の異なる連番同士で時刻設定に矛盾があった場合、動作は出力オフの設定よりも出力オンの設定が優先されます。

例：時刻設定を以下のようにしていた場合

連番1 オン時刻13:00 オフ時刻15:00

連番2 オン時刻14:00 オフ時刻16:00

連番1に設定したオン時刻13:00に出力がオンになりますが連番1のオフ時刻設定が無視され連番2で設定したオフ時刻16:00まで出力はオンを続けます。

13:30など実際に存在しない時刻はエラーチェックではじかれますが、上記のような設定時刻の矛盾はチェックしていませんので時刻を設定する場合はよく注意して行ってください。

時刻設定に重複する時刻が設定された場合の動作

オン時刻とオフ時刻の両設定に重複しているデータがあった場合、重複しているデータは自動的に削除されます。

例：以下のような重複データがあった場合

連番1 オン時刻12:00 オフ時刻17:00

連番2 オン時刻12:00 オフ時刻17:00

連番2のデータは削除され、連番1のデータのみ格納されます。

2-4 繰返設定画面 (サブ画面)

繰返設定 【プログラムN 1 / パターンNo. 1】			
登録	クリア	戻る	◀▶ 出力番号 12 / 16
開始時刻	12:34	終了時刻	12:34
サイクル時間	12:34	オン時間	12:34

運転パターンの設定中に、一定サイクルでオン/オフを繰り返すデューティサイクル運転のプログラムを組み込むことができます。

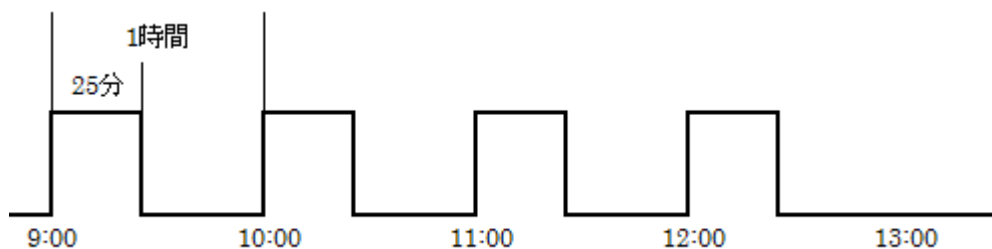
- 1) 登録ボタン
設定した開始時刻、終了時刻、サイクル時間、オン時間を登録します。
- 2) クリアボタン
現在設定しているプログラム番号とパターン番号の全出力に設定した開始時刻、終了時刻、サイクル時間、オン時間をクリアします。
- 3) 戻るボタン
繰返設定を終えてメニュー画面に移動します。
- 4) 矢印ボタン
パターン設定をする出力番号を切り替えます。
- 5) 出力番号
現在設定中の出力番号が表示されます。
数値表示部を押下するとテンキーが表示されるので値を入力すると、任意の出力番号設定画面に移動することができます。
- 6) 開始時刻
デューティサイクル運転の開始時刻を設定します。0:00 から 23:59 まで設定可能です。
- 7) 終了時刻
デューティサイクル運転の終了時刻を設定します。0:00 から 23:59 まで設定可能です。
- 8) サイクル時間
デューティサイクル運転のサイクル時間を設定します。0:00 から 23:59 まで設定可能です。
- 9) オン時間
デューティサイクル運転のオン時間を設定します。0:00 から 23:59 まで設定可能です。

繰返設定の設定手順

- ① メニュー画面でプログラム番号、パターン番号を設定し繰返設定画面に入ります。
- ② 各出力番号に開始時刻、終了時刻、サイクル時間、オン時間を設定してください。
- ③ 登録ボタンを押下してください。
- ④ 戻るボタンを押下しメニュー画面に戻ってください。

動作例

開始時刻 9:00、終了時刻 13:00、サイクル時間 1:00、オン時間 0:25 の時、動作のタイムチャートは以下のようになります。



注意

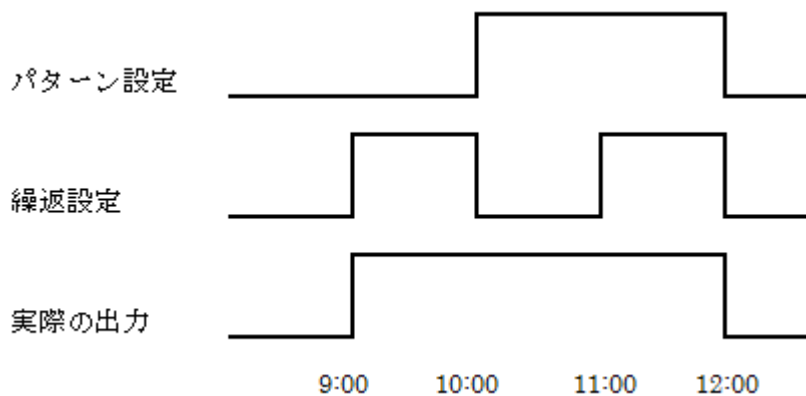
現在時刻がパターン設定のオン時刻-オフ時刻の範囲内または繰返設定のオン時間の範囲どちらかの時、出力はオンとなります (但し出力設定が「自動」の場合。詳細は2-6を参照してください)。

例)

ある出力番号で、

1. パターン設定のオン時刻 10:00、オフ時刻 12:00、
2. 繰返設定の開始時刻 9:00、終了時刻 13:00、サイクル時間 2:00、オン時間 1:00

の2つの設定が同時に動作した場合、出力設定が「自動」であれば、実際の出力は以下の通りとなります。



2-5 週間設定画面 (サブ画面)

週間設定		【プログラムNo. 1】					
登録	クリア	戻る					
曜日	日	月	火	水	木	金	土
パターン 番号	1	1	1	1	1	1	1

日曜から土曜までの1週間のタイムスケジュールの設定を、各プログラム番号に対して行います。
1週間の設定は、予め設定した運転パターンをこの画面で各曜日に対応させて設定します。
デフォルト設定では全曜日にパターン1が設定されています。

- 1) 登録ボタン
設定した週間設定を登録します。
- 2) クリアボタン
選択中のプログラム番号に登録した週間設定をデフォルト値に設定します。
- 3) 戻るボタン
週間設定を終了してメニュー画面に移動します。
- 4) 曜日データ設定用ボタン
押下するとパターン番号を切り替えることができます。

週間設定の設定手順

- ① メニュー画面でプログラム番号設定し週間設定画面に入ります。
- ② 各曜日に任意のパターン番号を設定してください。
- ③ 登録ボタンを押下してください。
- ④ 戻るボタンを押下しメニュー画面に戻ってください。

2-6 出力設定画面 (サブ画面)

出力設定							
登録		戻る					
1	2	3	4	5	6	7	8
自動	自動	自動	自動	自動	自動	自動	自動
9	10	11	12	13	14	15	16
自動	自動	自動	自動	自動	自動	自動	自動

出力毎に自動/オン/オフを設定します。

- 1) 登録ボタン
出力設定画面上の設定を登録します。運転中の場合は、直ちに設定を反映します。
- 2) 戻るボタン
出力設定を終了してメニュー画面に移動します。
- 3) 出力状態切替ボタン
出力状態を変更します。

出力設定の設定手順

出力1～出力16までの出力状態切替ボタンを押下し任意の設定に変更後、登録ボタンを押下してください。

各設定の動作内容は以下の通りです。

- ・ [自動] プログラムの設定通りの動作を行います。
- ・ [入] プログラムの設定に関係なく出力をオンにします。
- ・ [切] プログラムの設定に関係なく出力をオフにします。

※ 出力設定を変更するとプログラムの設定に関係なく出力が固定されます。
設定を変更する場合は問題がないか確認してから行ってください。

2-7 特定日設定画面 (サブ画面)

特定日設定		【プログラムNo. 1】					
連番	特定日	パターン	登録	クリア	戻る	◀▶	1 / 4
1	02/04	2	4	12/14	3	7	00/00 0
2	04/30	4	5	00/00	0	8	00/00 0
3	10/10	1	6	00/00	0	9	00/00 0

特定の月日を指定し、その日のパターンを設定することができます。
この時、週間設定で設定されたパターンは無視され、この特定日のパターンを優先して実行します。
特定日は最大で30日分まで設定することができます。

- 1) 登録ボタン
特定日設定画面上の設定を登録します。
- 2) クリアボタン
登録した特定日設定を削除します。
- 3) 戻るボタン
特定日設定を終了してメニュー画面に移動します。
- 4) 矢印ボタン
ページを切り替えます。

特定日設定の設定手順

- ① メニュー画面でプログラム番号を設定し特定日設定画面に入ります。
- ② 特定日を01/01から12/31までの間に設定してください。
- ③ パターンは1~4から選択して設定してください。
- ④ 手順②~③を繰り返し、最後に登録ボタンを押してください。
- ⑤ 戻るボタンを押してメニュー画面に戻ってください。
※ 設定したデータは登録ボタンを押すと日付順にソートされます。

特定日設定に重複するデータが設定された場合の動作

特定日とパターンの設定が重複している場合は重複しているデータは自動的に削除されます。

例：以下のような重複データがあった場合

連番1 特定日 5/13 パターン 2

連番2 特定日 5/13 パターン 2

連番2のデータは削除され連番1のデータのみ格納されます。

特定日のみ重複しており、パターン設定は重複していない場合はエラーメッセージが表示されます。

例：以下のような重複データがあった場合

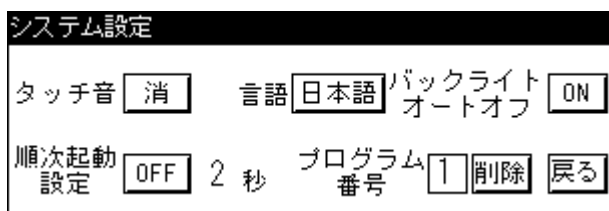
連番1 特定日 5/13 パターン 2

連番2 特定日 5/13 パターン 3

『設定データが不正です 日付が重複しています』というエラーメッセージが表示されます。

該当するデータを修正後、再度データ登録をしてください。

2-8 システム設定画面 (サブ画面)



タッチ音の切り替え、バックライトのオートオフ切り替え、順次起動時間の設定、指定プログラムの初期化が出来ます。

- 1) タッチ音
タッチ音を「消」、「大」、「小」から選択します。
- 2) 言語
言語を日本語と英語から選択します。
- 3) バックライトオートオフ
バックライトオートオフの設定を切り替えます。
オンに設定している場合は15分間タッチパネルを操作しないと自動的にバックライトがオフになります。
- 4) 順次起動設定
2つ以上の出力が同時にオンする時に、電源トラブルを回避するために、出力番号の若い順から1つずつ順に、一定間隔 (0~10 秒) でオンさせることができます。
順次起動設定をオンにした後に、数値表示部を押下して起動間隔を設定してください。
- 5) 指定プログラム削除
選択したプログラムのパターン設定と週間設定を初期化します。
- 6) 戻るボタン
システム設定を終了してメニュー画面へ移動します。

2-9 時計設定画面 (サブ画面)

時計設定

07年 07月 06日 12時 36分 49秒

セット アジャスト 戻る

現在時刻の設定とアジャスト機能による現在時刻の自動調整ができます。

- 1) 時計設定
年,月,日,時,分に任意の値を入力後、セットボタンで確定します。
- 2) アジャスト機能
アジャストボタンを押下すると現在時刻を自動調整します。
現在時刻の秒が 29 秒以下の場合には 00 秒に、30 秒以上の時は現在時刻に+1 分します。
- 3) 戻るボタン
時計設定を終了し、メニュー画面に戻ります。

3 外部入力と外部出力について

3-1 外部入力

外部入力がオンになると以下のようにデバイスに値を書き込みます。

入力番号	入力先デバイス	入力オン時の値	入力オフ時の値	入力オン時の運転プログラム
外部入力 1	X 1	1	0	プログラム 1
外部入力 2	X 2	1	0	プログラム 2
外部入力 3	X 3	1	0	プログラム 3
外部入力 4	X 4	1	0	プログラム 4

※ プロジェクトテンプレートの初期設定ではホスト I/F ドライバの設定は「OpenNet(FC3A),MicroSmart(FC4A/FC5A - 1:1 通信)」になっています。

複数の入力がオンになっている場合は若い入力番号の設定が優先されます。

ホスト I/F ドライバの設定を変更する場合、WindO/I-NV2 の“ホーム | 編集 | 置換”で上記デバイス[X 1]～[X 4]を[WLPX 0-0]～[WLPX 0-4]に、上述の[Y 0]～[Y 1 7]を[WLPY 0-0]～[WLPY 0-15]に変更してから、接続する PLC のホスト I/F ドライバに変換し、その後もう一度デバイス[WLPX 0-0]～[WLPX 0-4]と[WLPY 0-0]～[WLPY 0-15]を任意のデバイスに変更してください。

注意

上記の操作を行わずにホスト I/F ドライバの変換を行うと、プロジェクト内でデバイス[Y]と[X]を使用している箇所（部品の動作条件など）が空白になり、正常に動作しなくなります。

3-2 外部出力

出力がオンになると以下のようにデバイスに値を書き込みます。

出力番号	出力先デバイス	出力オン時の値	出力オフ時の値
出力 1	Y 0	1	0
出力 2	Y 1	1	0
出力 3	Y 2	1	0
出力 4	Y 3	1	0
出力 5	Y 4	1	0
出力 6	Y 5	1	0
出力 7	Y 6	1	0
出力 8	Y 7	1	0
出力 9	Y 10	1	0
出力 10	Y 11	1	0
出力 11	Y 12	1	0
出力 12	Y 13	1	0
出力 13	Y 14	1	0
出力 14	Y 15	1	0
出力 15	Y 16	1	0
出力 16	Y 17	1	0

※ プロジェクトテンプレートの初期設定ではホスト I/F ドライバの設定は「OpenNet(FC3A),MicroSmart(FC4A/FC5A - 1:1 通信)」になっています。

ホスト I/F ドライバの設定を変更する場合、WindO/I-NV2 の“ホーム | 編集 | 置換”で上記デバイス[Y 0]～[Y 1 7]を[WLPY 0-0]～[WLPY 0-15]に、後述の[X 1]～[X 4]を[WLPX 0-0]～[WLPX 0-4]に変更してから、接続する PLC のホスト I/F ドライバに変換し、その後もう一度デバイス[WLPY 0-0]～[WLPY 0-15]と[WLPX 0-0]～[WLPX 0-4]を任意のデバイスに変更してください。

注意

上記の操作を行わずにホスト I/F ドライバの変換を行うと、プロジェクト内でデバイス[Y]と[X]を使用している箇所（部品の動作条件など）が空白になり、正常に動作しなくなります。